

言葉の力

交わりの礼拝

2008/4/6

神と言葉

□ 神は言葉によって世界を創造された

- 「神は言われた。『光あれ。』こうして、光があった。」
＜創世記8:3＞

□ 神は言葉によって人を養われる

- 「人はパンだけで生きるのではなく、人は主の口から出るすべての言葉によって生きる」＜申命記8:3＞

□ 神の言葉の力

- 「神の言葉は生きており、力を発揮し、どんな両刃の剣よりも鋭く、精神と霊、関節と骨髓とを切り離すほどに刺し通して、心の思いや考えを見分けることができます。」＜ヘブライ 4:12＞
-

信仰と言葉

- 福音は言葉によって伝えられる
 - 「信仰は聞くことにより、しかも、キリストの言葉を聞くことによって始まるのです。」＜ロマ10:8＞
 - 信仰は言葉による告白に始まる
 - 「実に、人は心で信じて義とされ、口で公に言い表して救われるのです。」＜ロマ10:10＞
 - 言葉の実践によって信仰は完成される
 - 「わたしのこれらの言葉を聞いて行う者は皆、岩の上に自分の家を建てた賢い人に似ている。」＜マタイ7:24＞
-

言葉を扱う者の責任

- 「人の口からは、心にあふれていることが出て来るのである。善い人は、良いものを入れた倉から良いものを取り出し、悪い人は、悪いものを入れた倉から悪いものを取り出してくる。言っておくが、人は自分の話したつまらない言葉についてもすべて、裁きの日には責任を問われる。あなたは、自分の言葉によって義とされ、また、自分の言葉によって罪ある者とされる。」 <マタイ12:33～37>
-

言葉を扱うことの難しさ

- 「わたしたちは皆、度々過ちを犯すからです。
言葉で過ちを犯さないなら、それは自分の全身を制御できる完全な人です。馬を御するには、口にくつわをはめれば、その体全体を意のままに動かすことができます。...同じように、舌は小さな器官ですが、大言壮語するのです。御覧なさい。どんなに小さな火でも大きい森を燃やしてしまう。」 <ヤコブ3:2~5>
-

言葉の原理

- 何かをいうことは**何かをすること**である
 - 「ありがとう」は感謝を示す行為である場合と、もう少し下さいという要求を示す場合がある
 - 言葉の意味は**両者の関係**によって決まる
 - 言葉そのものが人を傷つけたり励ましたりするのではなく、関係性に基づいて言葉の意味が決まる
 - 言葉の意味は100%**受け取る側の翻訳**である
 - 「そんなつもりで言ったのではない」
-

目指すべき(理想の)言葉

□ 健全な(健康的な)言葉

- 「非難の余地のない**健全な言葉**を語りなさい。そうすれば、敵対者は、わたしたちについて何の悪口も言うことができず、恥じ入るでしょう。」<テトス2:8>

□ 塩味の効いた快い(恵みの)言葉

- 「いつも、**塩で味付けされた快い言葉**で語りなさい。そうすれば、一人一人にどう答えるべきかが分かるでしょう。」<コロサイ4:6>

□ 人を造り上げる言葉

- 「悪い言葉を一切口にしてはなりません。ただ、聞く人に恵みが与えられるように、**その人を造り上げるのに役立つ言葉**を、必要に応じて語りなさい。」<エフェソ4:29>
-